

科目名		産業保健管理学実習	
科目責任者	堀江正知	(産業保健管理学 教授)	
担当者	永野千景	(産業保健管理学 助教)	
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業保健専門職として事業場に普遍的に存在する危険有害要因(ハザード)について、関係法令やガイドラインを理解し、そのリスクの見積りや現実的なリスク低減対策について科学的に探究する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 職場における危険有害要因(ハザード)に関する法令やガイドラインの内容を説明できる。 2) 職場における危険有害要因(ハザード)に関する学術的な知見に関する情報を収集できる。 3) 職場における危険有害要因(ハザード)と健康影響との因果関係を推論できる。 4) 産業保健専門職の倫理に基づき個別事例に関する適切な判断や行動ができる。 5) 学術団体の勧告等を応用して化学物質や物理的要因のリスクを見積もることができる。 6) 高温ストレス、騒音その他の物理的要因に関する生体モニタリングを実施できる。 7) 温熱、騒音、重要物等の中から自らが選択したものについて現実的なリスク低減対策を提案できる。 			
● 評価方法	検討会での討論(50%)・発表・レポート(50%)等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		